

【調査の概要】  
 平成25年4月30時点調査（郵送法）  
 調査対象 県内1,000社  
 回答企業 403社（回答率 40.3%）

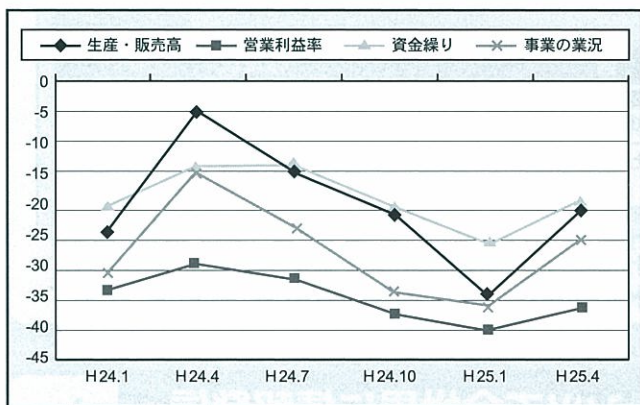
## ～ 全業種で業況改善、さらに高まる期待感 ～

### 【全産業DI値】（表1・表2）

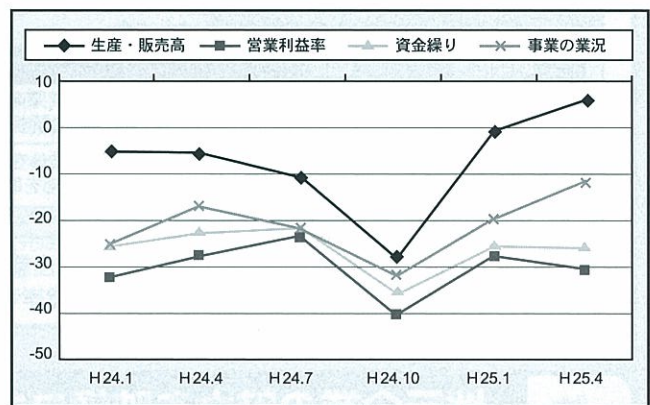
山形県全体のDI値（※）の前年同月比推移を見ると、調査対象業種すべてについて生産・販売高、営業利益、資金繰り、事業の業況の項目で改善傾向がうかがえる内容となっている。3月までの業況、見通しについては悲観的な見方が大勢であったが4月以降の景況は幾分明るさが見られる。計数は次のとおり、生産・販売高(H25.1調査▲34.2→▲20.1)、営業利益率(▲40.0→▲35.9)、資金繰り(▲25.6→19.3)、事業の業況(▲36.0→▲25.2)

3ヶ月先見通しDI値(表2)では、生産・販売高、事業の業況については上方傾向と見るものの営業利益率、資金繰りについては前回とほぼ同様の厳しい見方となっている。生産・販売高(H25.1調査▲1.1→今回調査6.3)、営業利益率(▲28.7→▲30.4)、資金繰り(▲26.1→▲26.1)、事業の業況(▲19.4→▲12.5)

【表1 - 県計前年同月比DI値の推移】



【表2 - 3ヶ月先見通しDI値の推移】



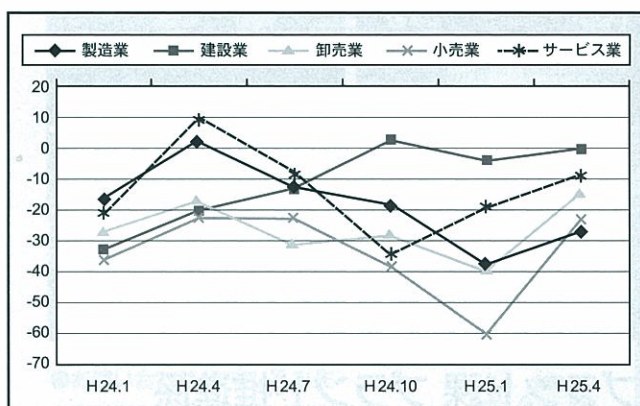
### 【産業別DI値】（表3・表4）

生産・販売高の前年同月比DI値を業種別の推移でみると、全業種で上方傾向が見られる。特に卸、小売業、サービス業で顕著な数値を示している。（製造業：H25.1前回調査▲35.7→▲26.3、建設業▲4.7→0、卸売業▲37.9→▲14.7、小売業▲58.7→▲23.6、サービス業▲19.1→▲10.6）

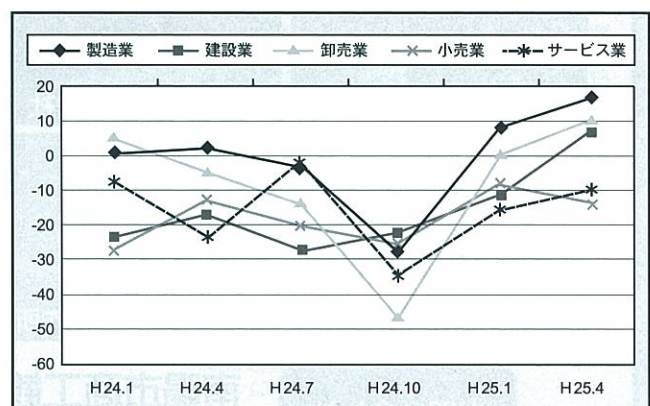
3ヶ月見通しDI値については、小売業を除くすべての業種で上方傾向を示しており、明るい見方をしている企業が多い結果となっている。（製造業：H25.1調査6.5→15.1、建設業▲11.6→6.8、卸売業0.0→8.8、小売業▲8.0→▲11.7、サービス業▲14.9→▲8.5）

県内企業についても消費税増税に伴う駆け込み需要や、安倍政権の積極的な景気対策により景気回復への期待が高まっている。一方、表2に見られるとおり収益性の回復については厳しい見方をしており、今後の業況についてはなお予断を許さない状況となっている。

【表3 - 業種別生産・販売高前年比DI値の推移】



【表4 - 業種別生産・販売高3ヶ月先見通しDI値の推移】



(※1) DI値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数